TADOKU JUNIOR　イソップ物語　★★★☆☆ ふつう　313語

The Cock and the Fox

おんどりとキツネ

Aesop（1919年の本）　**原文そのまま**　朗読：Lee Smalley

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　木の上でねむろうとするおんどりに、キツネが「みんななかよくすることになったよ、おりておいで」とさそいます。



One bright evening as the sun was sinking on a glorious world a wise old Cock flew into a tree to roost. Before he composed himself to rest, he flapped his wings three times and crowed loudly. But just as he was about to put his head under his wing, his beady eyes caught a flash of red and a glimpse of a long pointed nose, and there just below him stood Master Fox.

"Have you heard the wonderful news?" cried the Fox in a very joyful and excited manner.

"What news?" asked the Cock very calmly. But he had a queer, fluttery feeling inside him, for, you know, he was very much afraid of the Fox.

"Your family and mine and all other animals have agreed to forget their differences and live in peace and friendship from now on forever. Just think of it! I simply cannot wait to embrace you! Do come down, dear friend, and let us celebrate the joyful event."

"How grand!" said the Cock. "I certainly am delighted at the news." But he spoke in an absent way, and stretching up on tiptoes, seemed to be looking at something afar off.

"What is it you see?" asked the Fox a little anxiously.

"Why, it looks to me like a couple of Dogs coming this way. They must have heard the good news and—"

But the Fox did not wait to hear more. Off he started on a run.

"Wait," cried the Cock. "Why do you run? The Dogs are friends of yours now!"

"Yes," answered the Fox. "But they might not have heard the news. Besides, I have a very important errand that I had almost forgotten about."

The Cock smiled as he buried his head in his feathers and went to sleep, for he had succeeded in outwitting a very crafty enemy.

> **The trickster is easily tricked.**

和訳 おんどりとキツネ（The Cock and the Fox）

ある晴れた夕方、すばらしい世界にお日さまがしずんでいくころ、かしこい年よりのおんどりが、ねむるために木にとびあがりました。休む前に、おんどりはつばさを3回バタバタさせて、大きな声で鳴きました。ところが、つばさの下に頭を入れようとしたちょうどそのとき、おんどりの小さな丸い目に、ちらりと赤いものと、長くとがった鼻が見えました。すぐ下に、キツネさんが立っていたのです。

「すばらしいニュースを聞いたかい？」とキツネは、とてもうれしそうに、わくわくしたようすでさけびました。

「どんなニュースだい？」とおんどりは、とてもおちついてたずねました。でも、おんどりは心の中が、なんだかへんにそわそわしていました。だって、ごぞんじのとおり、おんどりはキツネがとてもこわかったのです。

「きみの家族もぼくの家族も、ほかの動物たちもみんな、これまでのあらそいをわすれて、これからはずっとなかよく、へいわにくらすことにきまったんだよ。考えてもごらんよ！きみをだきしめたくて、もうまちきれないよ！さあ、おりておいでよ、友よ。このうれしいできごとを、いっしょにおいわいしよう。」

「なんてすばらしい！」とおんどりは言いました。「そのニュースは、ほんとうにうれしいなあ。」けれど、おんどりはうわのそらで話しながら、つま先立ちになって、何か遠くのものを見ているようでした。

「何が見えるんだい？」とキツネは少ししんぱいそうにたずねました。

「おや、犬が2ひき、こっちへやってくるみたいだよ。きっと、いいニュースを聞いたんだね。それで――」

けれど、キツネはそのつづきを聞こうとはしませんでした。キツネは走って、にげだしました。

「まって」とおんどりはさけびました。「どうしてにげるんだい？犬たちは、もうきみの友だちなんだろう！」

「そうだよ」とキツネは答えました。「でも、犬たちはまだニュースを聞いていないかもしれないからね。それに、すっかりわすれていた、とてもだいじな用事があるんだ。」

おんどりはにっこりわらって、羽の中に頭をうずめてねむりました。とてもずるがしこいてきを、うまく出しぬいたのです。

> **人をだまそうとする者は、かんたんにだまされるものです。**

たんご と クイズ おんどりとキツネ

sun お日さま	**Cock** おんどり	**tree** 木
wings つばさ	**Fox** キツネ	**news** ニュース、しらせ
Dogs 犬		

Q1 キツネが話した「すばらしいニュース」とは？

① ごちそうがあること　② 動物たちがみんななかよくすること　③ 新しい王さまがきまったこと

Q2 おんどりは、何が見えると言った？

① こっちへ来る犬2ひき　② 大きなワシ　③ かりゅうど

Q3 キツネがにげたわけは何だと言った？

① おなかがいたいから　② 家族がよんでいるから　③ 犬がニュースを聞いていないかもしれないから

こたえ

Q1 ② 動物たちがみんなあらそいをわすれて、これからはなかよくくらすことにきまった、とうそをつきました。

Q2 ① おんどりは、犬が2ひきこっちへやってくると言いました。それを聞いたキツネは、あわててにげだしました。

Q3 ③ 犬たちはまだニュースを聞いていないかもしれない、だいじな用事もある、といいわけをしました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #19994（Aesop、1919年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Lee Smalley（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。